

工事説明資料作成要領

1 工事説明資料作成の要点

工事着手前、下水道工事によって、初めて受益者負担金の賦課対象者になった住民に対し、工事内容の説明と、工事の協力を得るために工事説明を行っております。

その際に、工事説明の補足資料として、請負者は工事説明資料を必要部数作成し、提出しなければならない。

工事説明資料は、次の事項について記載する必要があります。

- (1) 工事概要
- (2) 図面
- (3) 工事の流れ
- (4) 汚水ます設置承諾書記入例

なお、雨水管工事等においては、監督員と別途協議すること

2 工事説明資料の作成例

請負者が作成する工事説明資料の記載内容例、および留意点を以下に示します。

(1) 工事概要

工事概要については、下記の例示内容程度を、また工事内容については工事数量の工種、種別、数量等を記入します。この場合、工種が1式表示であるものおよび主要工種以外については、工種のみ記載でかまいません。

【例】工事概要

工事番号	下管渠第〇〇号
工事名	公共下水道築造工事
工事場所	〇〇地内
工 期	着手 令和〇年〇月〇日 完成 令和〇年〇月〇日
工事内容	管きょ工（開削） 硬質塩化ビニル管 φ〇mm L=〇〇. 〇〇m マンホール工 組立1号マンホール 〇箇所 取付管及びます工 〇箇所 付帯工 1式
作業時間	午前9：00～午後4：30
休日等	日曜日・祝日
監督員	秋田市上下水道局下水道整備課 〇〇 〇〇 TEL 864-1455
施工業者	株式会社 〇〇 現場代理人 〇〇 〇〇 TEL 〇〇〇-〇〇〇〇

(2) 図面

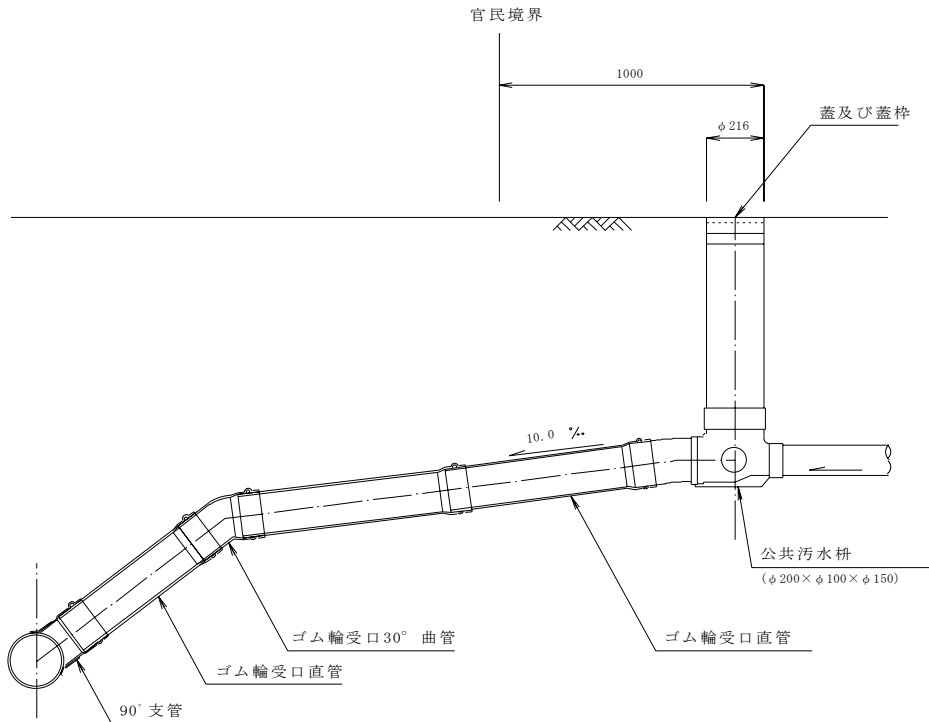
(a) 箇所図 (1/2, 500)

(b) 平面図 (1/500)

※本管：赤、マンホール類：青、公共汚水ます：緑に着色すること

(c) 取付管（公共汚水ます～下水道本管）の標準断面図

断面図



(3) 工事の流れ

工事の流れについては、下記の例示内容程度を実際の施工に沿って明示すること

【例】工事の流れ

工事説明→家屋調査→試掘→ガス等埋設管移設工事→下水道布設工事→舗装復旧工事

(4) 汚水ます設置承諾書記入例

別紙参照のこと